

| | |
|---|--|
| <p>【技術の名称】 二重鋼管座屈補剛ブレース —十字形プレート割込み形式接合部による二重鋼管形式座屈拘束ブレース—</p> | <p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-27号 性能証明発効日：2019年3月25日</p> <p>【取得者】 JFEシビル株式会社 JFEスチール株式会社</p> |
|---|--|

【技術の概要】

本技術は、芯材（軸力管）と座屈拘束材（補剛管）がともに円形鋼管である座屈拘束部と、十字形断面による接合部で構成される二重鋼管形式の座屈拘束ブレースである。接合部は、従来のエンドプレート形式と異なり、切り欠きを設けた芯材に直接十字形接合部を割り込ませる形式としている。

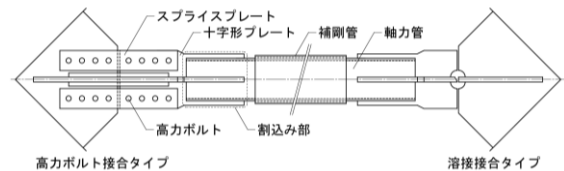


図1 二重鋼管座屈補剛ブレース

【技術開発の趣旨】

本技術は、芯材の径厚比が小さく降伏耐力が大きな場合でも適用が容易で、接合部にエンドプレートを省くことで構成部品を少なくし、製造コストの低減が可能となることを意図して開発されたものである。

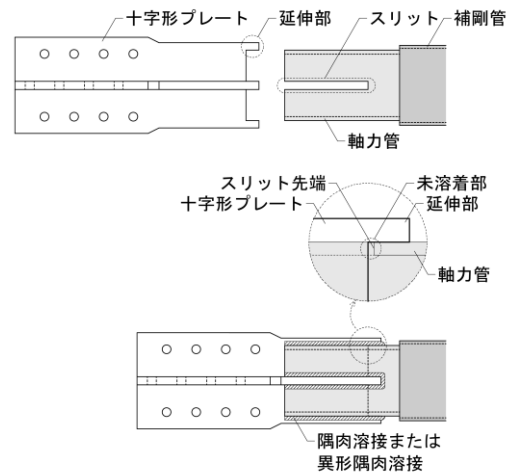


図2 割込み部の概要

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「二重鋼管座屈補剛ブレース 設計施工指針」および「二重鋼管座屈補剛ブレース 製作・品質管理基準」に従って設計・製作・施工された座屈拘束ブレースは以下の性能を有する。

- (1) 圧縮軸力下で引張軸力時と同等の降伏軸力を有する。
 (耐震・制振)
- (2) 圧縮軸力下で座屈しない筋かい材として取り扱うことができる。
 (耐震・制振)
- (3) 圧縮、引張の繰返し軸力に対し安定した復元力特性を有する。
 (耐震・制振)
- (4) 骨組の変形に追従できる十分な変形性能を有する。
 (耐震・制振)
- (5) 同指針で規定する累積塑性変形性能（疲労性能）を有する。
 (制振)

【本技術の問合せ先】

JFEシビル株式会社 担当：戸張 涼太
 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号

E-mail : tobari-ryouta@jfe-civil.com
 TEL : 03-3864-3580 FAX : 03-3864-5844